

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 老人看護CNS必修
担当教員			
◎小長谷百絵、原等子、齋藤登、岡村毅、小森哲夫、田中紀裕、山上徹也、清水徳子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 レス】 ◎小長谷 百絵 konagaya@niigata-cn.ac.jp 原 等子 naohara@niigata-cn.ac.jp 齋藤 登 岡村 毅 小森 哲夫 田中 紀裕 山上 徹也 清水 徳子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 獨協医科大学埼玉医療センター 東京都健康長寿医療センター研究所 東京医療保健大学 安江たなか歯科医院 群馬大学大学院保健学研究科 訪問看護ステーションふれあい田町	【研究室】 213 303	【メールアド
	【本学の科目区分】 専門分野			
	【D P 1】 ◎	【D P 2】 ○	【D P 3】 ○	【D P 4】 ○
	【D P 5】 ◎	【D P 6】		

到達目標	1. 高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群について、概念、病態生理と症候、診断・検査および治療法を説明できる。 2. 高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の病態生理学的知識を高度実践看護に活用する方法を説明できる。
------	--

授業概要	老年看護高度実践者として必要な高齢者に生じやすい主な疾患や障害ならびに老年症候群の代表的なものを取り上げ、その概念、病態生理と症候、診断検査、治療法について学修する。また、これらの知識の高度実践看護への活用について討議し、その重要性についての理解を深める。
------	--

授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：授業のガイダンス 学修内容：・授業の目標・内容・方法（進め方），評価方法，受講・課題・資料配布等のルール，参考図書などについて 備考： 小長谷 原
	2-5	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断過程、治療法(1) 学修内容：・呼吸器系の疾患・障害：肺がん、慢性閉塞性肺疾患、肺炎など ・心血管系の疾患・障害：虚血性心疾患、高血圧症、腹部大動脈瘤、心不全など ・消化器系内分泌系の疾患・障害：摂食・嚥下・栄養機能障害、糖尿病など 備考： 齋藤
	6-7	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断検査、治療法(2) 学修内容：脳血管・脳神経系の疾患・障害：脳梗塞、脳出血、パーキンソン病、遺伝性神経障害など 備考： 小森
	8-9	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の病態生理と症候、診断検査、治療法(3) 学修内容：・整形外科的な疾患・障害：骨粗鬆症フレイルとサルコペニア・ロコモティブシンドローム、大腿骨頸部・転子部骨折、変形性膝関節症、脊柱管狭窄症などの後療法 備考： 山上
	10-11	授業内容 授業形態：講義 学修課題：高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念、病態生理と症候、診断検査、治療法(4) 学修内容：・歯科・口腔疾患：う歯、歯槽膿漏、歯牙欠損、義歯不適合など

	備考 : 田中 授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 高齢者に生じやすい主な疾患・障害ならびに老年症候群の概念、病態生理と症候、診断検査、治療法(5) 学修内容 : • 精神障害：うつ病、せん妄、睡眠障害、自死・自殺、心身症など 備考 : 岡村
12-13	授業内容 授業形態 : 講義 学修課題 : 高齢者に生じやすい主な疾患・障害の概念、病態生理と症候、診断検査・治療およびケア(6) 学修内容 : • 尿路変更やストマ造設が必要になる泌尿器系疾患や大腸疾患 備考 : 清水
14	授業内容 授業形態 : 講義 討議 学修課題 : 病態生理学知識や診断検査および治療法の知識の高度実践看護への活用 学修内容 : • 病態生理、診断検査、治療法の修得と高度実践看護およびこれらの知識の高度実践看護への活用 備考 : 小長谷 原
15	
事前・事後学習	事前学修：自己の看護実践を振り返って授業に臨む。 事後学修：講義内容を振り返り看護実践上の課題を明確にする。
評価方法、評価基準	到達目標1, 2に対して、事前学修状況 : 30%, 授業時の貢献度（討議） : 30%, 課題レポート : 40%により評価する。
テキスト	最新の論文や文献を使用するため現時点では指定せず授業内で案内する
参考図書・資料等	・折茂肇編 (2010) : 新老年学、東京大学出版会. ・病気がみえるシリーズ。メディックメディア *その他、授業の中で随時紹介する。
受講、課題、資料配布等のルール	・各単元の学修課題、学修内容について事前に予習して基礎的知識をもって授業に臨み、疑問や不明点などについては講義を通じて理解できるようにする。また、授業を通じて、疾患学の学修方法を修得し、授業で取り上げなかった高齢者に生じやすい疾患・障害などは自己学修して理解する。さらに、15回目の授業では、事前に自己の考えをまとめて発表・討議し、理解を深めるようにする。 ・授業後のレポート課題 「高齢者の結核・感染症、自己免疫性疾患、白血病・がんの定義・種類・病態生理と症候、診断検査、治療法」 *詳細は初回開講時にガイダンスする。 *COVID-19 の感染状況に応じてオンライン授業にする（事前に連絡する）
教員からのメッセージ	高齢者の病態像は、加齢変化に疾患や障害が加味して複雑・多岐に渡り、症状・病状が典型的でなく、診断に苦慮することも少なくありません。本授業では、各々の疾患や障害の専門家である医師や高度看護実践者に教授を依頼しています。老人看護 CNS の役割を果たすための基礎的知識であるため、各々単元の学修課題を事前学修して授業に臨み、講義を通じて確かな知識として修得できることを期待しています。
オフィスアワー	応相談(メール対応)